



▲ 10月から発送を開始しています。

市では、ご寄附をいただいた人に、感謝のきもちを込めて、【特選 幸手のこしひかり（新米）】をお贈りしています。10月から、平成25年産の新米の発送を開始しました。

◎ご寄附をいただいた人
（8月1日～9月30日）
青木 亮一様 石突 幸治様

吉岡しづ子様	八木 芳岳様	宮沢 史紀様	松本 政徳様	本田 貴宏様	藤本 健司様	原島 義夫様	初瀬 雄一様	縄田 善三様	竹山 昌孝様	平良 和也様	鈴木 猶一様	菅原 功様	齊藤 照子様	近藤 征明様	小池 崇司様	金澤 行晃様	岡本 佳隆様	大塚 雅司様	上田 圭介様	稲村 恒夫様
米本 ゆみ様	横川 秀人様	武藤 信宏様	水野久仁彦様	前田 賢様	古林 清一様	深町 佳之様	原 明広様	長谷川 剛様	田中 良幸様	高野 剛様	瀬戸 和雄様	杉山 通人様	島田 友樹様	齋藤 孝明様	小柳 祐一様	栗山 茂樹様	小城 左治様	岡田 大輔様	遠藤 健一様	岩崎 智幸様

ふるさと納税 ありがとうございます

「ふるさと納税制度」は、自分のふるさとや応援したい地方公共団体へ寄附した場合に、個人住民税の一部が控除される制度のことで、市では、平成20年度から受け付けを開始し、毎年、市内外を問わず、数多くのおみなさんからの寄附をいただいています。



▲おいしいお米をお届けします。

渡邊 章夫様 渡辺 晃弘様
Koronzi Karol様
※9月30日時点で入金の確認ができていない人について、50音順で掲載しています。

◎公表を希望されない人

▼寄附者数 681人 197人

▼寄附金額 716万5000円

問合せ 税額控除以外全般は 財政課 ☎(43)1111 内線 252・FAX(43)3783

寄附金に対する税額控除関係は税務課 ☎(43)1111 内線 132・FAX(43)1125



引き続きご協力をお願いします。

国民年金

国民年金は、国籍・職業を問わず、日本に住む20歳～60歳の人全員が加入します。

加入者は、職業などにより、つぎの3種類に分かれます。

- ▶第1号被保険者 農業者、自営業者、学生、フリーアルバイターなど
- ▶第2号被保険者 会社員、公務員などの厚生年金や共済年金加入者
- ▶第3号被保険者 第2号被保険者に扶養されている配偶者

多段階免除制度

経済的な理由や災害などにより、保険料を納めることが困難なときは、申請して承認されれば、保険料が免除される制度があります。

※免除には①全額免除、②半額免除、③4分の3免除、④4分の1免除の4段階があります。

学生納付特例制度

20歳以上であれば、学生であっても国民年金に加入し、保険料を納めることになります。

ただし、経済的に保険料を納めることが難しい場合は、後から保険料を納めることができる学生納付特例制度があります。

保険料の追納

保険料が免除・猶予または学生納付特例が承認された期間の保険料は、10年以内であれば納付（追納）することができます。なお、追納期間は、保険料の全額納付と同じ扱いになります。

※ただし、保険料の免除などを受けた期間の翌年度から起算して3年度目以降に追納する場合は、承認を受けた当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

問合せ

保険年金課 ☎(43)1111 内線 145・FAX(43)3835
春日部年金事務所 ☎048(737)1125

エコライフDAY2013の取組結果

エコライフDAYは、家庭からの二酸化炭素排出量削減を目指して、省エネ・省資源の生活を1日体験する取組みです。

何気なく過ごしている生活の中でも、ちょっとした心がけをすることで、二酸化炭素排出量を削減できることが体験できたでしょうか？

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX(48) 2226



▼参加者数・二酸化炭素削減量
今年は、7月7日(日)～14日(日) ※小・中学生、高校生は7月7日(日)に、「エコライフDAY」を実施しました。
今回の参加者数は6499人と、前回と比べると少なかったものの、二酸化炭素削減量は約4468kgと、前回より増加し、項目ごとの削減量の増加に加え、参加者のみ

なさん一人ひとりの実施率が前回よりも上昇している傾向が見受けられました。
▼項目ごとの取組状況
項目ごとの実施率では、高い項目から順に、

- | | |
|---------------------------|-------|
| ①市町村のごみ出しルールにしたがって分けた | 96.0% |
| ②冷蔵庫の扉は、すぐ閉めた | 92.7% |
| ③お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめにとめた | 90.1% |

と、上位3項目までが90%を超える結果となりました。また、一番実施率が低い項目でも22.0%と、今回は実施率が20%に満たないものはありませんでした。

▼みんなでエコライフを

例年、「テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったりコンセントからプラグを抜いた」(今回は29.5%)という項目が下位に入っています。

この項目も含め、ちょっとした工夫で、二酸化炭素排出

今すぐできるエコライフ項目 ※()内は1日に減らせる二酸化炭素量

- ▼冷蔵庫の扉は、すぐ閉めた。(8g・1年で154円の節約)
- ▼テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったりコンセントからプラグを抜いた。(72g・1年で1,423円の節約)
- ▼お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめにとめた。(82g・1年で2,656円の節約)
- ▼お風呂の残り湯を洗濯に使った。(16g・1年で3,433円の節約)
- ▼出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。(309g・1年で3,481円の節約)

量を削減できます。今回のエコライフDAYに限らず、今後も日ごろから環境への配慮を忘れずに、エコライフスタイル推進のため、みなさんのご家庭で、さまざまな取組みをお願いします。
※エコライフDAYの取組結果は、市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp/>)でも公表しています。

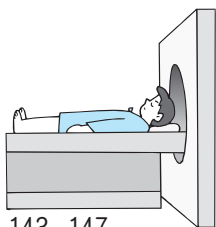
人間ドック・脳ドックの 検診費用の一部を助成しています

いつまでも元気で過ごせるよう、みなさんの疾病の予防・早期発見を促進し、健康の保持増進のため、今年度から人間ドックまたは脳ドック受診に係る自己負担額の一部助成を行っています。

この機会に、ぜひ、受診しておきましょう。

問合せ 保険年金課 ☎(43) 1111 内線 143、147

FAX(43) 1125



対象 受診日時点で、つぎの要件に該当する人

○満35歳以上の国民健康保険被保険者
(国民健康保険税に未納がない人)

○後期高齢者医療被保険者
(後期高齢者医療保険料に未納がない人)

助成額 1人につき年度内に27,000円が上限

※人間ドックなどの検診費用額が27,000円未満の場合は、その検診費用額を助成

※人間ドックまたは脳ドックのいずれか1回のみ

※後期高齢者医療被保険者は、同一年度内に幸手市国民健康保険で、この助成を受けていない人

申込み 人間ドックまたは脳ドックを受診し、結果を受領後、保険年金課窓口で申請してください。

持ち物

- ・被保険者証
- ・検診費用の領収書
- ・検診結果(写しを取り、原本は返却します。)
- ・振込先の預貯金通帳

※人間ドックとは、特定健康診査の健診項目をすべて含むものを言います。

※平成25年4月1日以後に受診したものから適用となります。

※検診費用を支払った日の翌日から起算して、2年を経過した場合は申請できません。